



野神っ子

～ 創立148周年
令和5年2月21日発行

そろそろ仕上げを

校長 田畑悦郎

あと1か月もすれば、卒業・修了の時となります。月日の経つのは本当に早いものです。

この1年間、お子さんの成長に、それぞれのご家庭で喜ばれたり賞賛されたりされたことと思います。また、成長したお子さんの姿を身近で実感されているのではないのでしょうか。4月に入学・進級をした頃の姿をぜひ思い浮かべ、比べてみてください。

さて、4月になりますと、また新しい学年となります。6年生は、中学校へ進みます。思い切ったよいスタートが切れるよう、残りの1か月で今年1年の仕上げをして欲しいところです。

①学習の仕上げを

学習は、当然学校で教えますが、学習したことが定着する（すなわち、学力として身に付く）ためには、家庭での復習が必要不可欠です。学年に応じた家庭学習の時間は確保されていますでしょうか。内容に偏りはないでしょうか。丁寧さはあるでしょうか。今一度お子さんの家庭学習の様子や内容をご確認の上、習慣化できていない場合は、毎日家庭で学習をがんばるよう、励ましてあげてください。

②生活習慣の仕上げを

お子さんの生活リズムは整っているでしょうか。遅くまでゲームやスマホに熱中している子はいないでしょうか。夜は決まった時間に寝て、十分な睡眠を取り、朝は決まった時間に起きて、朝食を摂る…といった、規則正しいリズムに沿って生活することが、1日の学習や遊び等の活力につながります。まだ、できていないというお子さんについても、まだ間に合います。この1か月間で、しっかり身に付けさせましょう。



③お手伝いの仕上げを

子どもも家庭の一員であることは、言うまでもありません。家庭の仕事の一部を分担させていますか。きちんと家庭の役割を果たすことができれば、それだけ子どもも居場所があるということで、役立っているということです。褒め言葉や感謝の言葉があれば、お子さんの自己有用感も高まります。1年生のうちから少しずつさせて、学年が上がることに少し高度な、重要な仕事をさせていくようにしましょう。

④親としての仕上げを

親がまず手本を見せることが一番です。子どもは親の姿を見ていないようで、実はよく見ていて、そして真似をします。場合によっては、言葉遣いや言動・行動などにおいても、親としては、して欲しくないことまで真似をします。

子どもたちのために、親として精いっぱい努力を惜しまないことが大切です。

残り1か月、あと1か月ではなく、まだ1か月あります。仕上げが肝心です。次のステップ（進級・進学）へ向けて、しっかりと仕上げているようにしましょう。

令和6年度の本校創立150周年に向け、12月に記念事業準備委員会を設立しています。協議を重ね、4月には記念事業実行委員会に移行していく予定です。具体的なことは、今後周知していきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

ふるさと自慢 パート1 「いちご」



JAあおぞら様より、6年生にふるさと特産品の「いちご」の寄贈がありました。見てください。すてきな笑顔です。私たちの住む志布志市有明のことを知り、誇りに思う素敵な時間でした。全国にも出荷されている「いちご」です。就職や進学で地元を離れたときに、ふるさとを思い出し、さらにはがんばっていくことでしょう。

ふるさと自慢 パート2 「お茶」

私たちの学校の周りにはきれいなお茶畑が広がっています。「若葉会」のみなさんには、毎年3年生を対象にお茶の入れ方教室を開催していただいています。今年もお茶のことを分かりやすくお話ししてください、実際にお茶をいれてみました。慣れない作業ではありましたが、一生懸命な姿でした。みんなでいっしょにお茶を飲むことの楽しさも味わうことができました。



厳しい寒さも楽しみました！



1月下旬は厳しい寒波がやってきました。雪遊びを楽しみにしていましたが、残念ながら雪は積もりませんでした。しかし、子どもたちは霜柱や氷を見つけて、冬を楽しんでいました。冷たい気温もへっちゃらな子どもたちでした。

左の児童が手に持っているのは、ガラスではなく、「氷」です。厳しい寒さに耐えた花壇の花が、きれいに咲き始めています。春の訪れを感じる毎日です。

新1年生との交流学習

現1年生と4月に入学予定の新1年生との交流学習がありました。新1年生は、6人の参加でした。野神小学校の1年間の出来事を紹介したり、いっしょにレクリエーションをしたりしました。4月をみんなで楽しみにしています。



※ 4月の行事予定については裏面をご覧ください。